

無石綿

NSハードレベラー

高強度・速硬タイプセメント系セルフレベリング材

NSハードレベラーは従来のセメント系セルフレベリング(SL)材と異なる新しいSL材です。圧縮強度が高く、一般床のみならず重量物が通過する床にも適し、各種仕上材が施工可能です。また、従来にはない速硬性を有し工期短縮を可能にしました。

特長

- 従来のSL材と比べて圧縮強度が高く、重量物が通過する工場、倉庫および駐車場等の床に適用できます。
- 速硬タイプで、施工後、夏季は約4時間、冬季は約6時間で軽歩行が可能です。また、短時間の養生で仕上材の施工が可能のため、工期を短縮できます。
- 従来のSL材と比べて乾燥収縮による長さ変化が小さく、ひび割れ抵抗性に優れます。
- 貼り床、塗り床、防塵塗料等の各種床材および防水材の施工ができます。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
25kg/袋	住宅・事務所の屋内床、病院・工場・倉庫・駐車場等の重量物が通過する屋内床、ベランダ・開放廊下等の外部床	コンクリート、PC板	長尺シート、Pタイル、カーペット、フローリング、塗り床*、防塵塗料、各種防水材	清水 約6ℓ	5~40mm	約1.4m ² (10mm厚)

注) *：塗り床材を施工する場合、NSハードレベラーの施工マニュアルを必ず参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

性能

■セルフレベリング材としての性能

試験項目	試験結果	JASS 15M-103 セルフレベリング材(セメント系)の品質規準
フロー値(cm)	22.8	19以上
凝結時間(時間-分)	始発	0-45以上
	終結	20-00以下
圧縮強度(N/mm ²)	材齢1日	-
	材齢7日	-
	材齢28日	20以上
下地接着強度(N/mm ²)	2.3	0.7以上
表面接着強度(N/mm ²)	2.3	0.5以上
長さ変化率(%)	0.02	0.12以下
耐衝撃性	割れ及びはがれなし	割れ及びはがれないこと

■塗り床下地としての性能

試験項目	試験結果	塗り床ハンドブックの品質基準	
表面強度	建研式接着試験* (N/mm ²)	材齢1日	1.5以上
		材齢14日	
	引っかき試験 (mm)	材齢1日	0.3以下が望ましい
		材齢14日	

注) *：日本塗り床工業会に規定する試験方法に従って測定。

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、真空掃除機等で清掃してください。

- *気泡発生および接着不良による浮きの原因となりますので、特に雨打たれ部分等のぜい弱部は、ポリッシャー等を用いて完全に除去してください。
- *凹凸の著しい箇所はあらかじめモルタル等でつけ送りしてください。
- *NSハードレベラーは僅かな隙間でも漏れやすいため、漏出のおそれのある箇所をモルタル等でシールしてください。
- *改修工事で、旧仕上材や仕上材の接着剤等が十分除去できない場合には、当社までお問い合わせください。

下地処理 (プライマー塗布)

NSハードレベラーの施工前日までに、施工面にNS高性能プライマーSL用の5倍希釈液(NS高性能プライマーSL用1：清水4)を2回塗布(合計 300g/m²)してください。1回目塗布後、NS高性能プライマーSL用が乳白色から透明になってから2回目を塗布してください。

なお、金ごて押え仕上によるコンクリートの場合は、NS高性能プライマーSL用の3倍希釈液(NS高性能プライマーSL用1：清水2)を1回塗布(200g/m²)してください。

- *接着不良を防ぐため、プライマーは必ずNS高性能プライマーSL用を使用してください。
- *1回目と2回目の塗布間隔は、夏季1～2時間以上、冬季3～5時間以上が目安です。ただし、乾燥後できるだけ早い時期に2回目の塗布をおこなうか、埃等の付着がないよう養生してください。
- *気泡発生の原因となりますので、希釈倍率を厳守し、左官刷毛等を用いてむらなく丁寧に塗布してください。
- *安定した気泡抑止効果が得られないおそれがあるため、ゴムベラ、スプレー等による塗布は避けてください。
- *NS高性能プライマーSL用が未乾燥状態で次工程の作業に移ると表面にプライマー成分が浮き上がり、仕上り不良や接着不良等の原因となりますので、十分乾燥させてください。

練混ぜ

所定量の水を容器に入れ、NSハードレベラーを徐々に加えながら高速ミキサー、ハンドミキサー等を用いてダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

- *強度低下の原因となりますので、標準配合を厳守してください。加水後の材料は15分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。
- *所定の流動性が得られない場合がありますので、高速回転(1000rpm以上)で十分練り混ぜてください。
- *水量が多いと、強度低下およびレイタンス発生の原因となります。

打設

練り混ぜ後のNSハードレベラーを隅から順に広げるように打設しながら、レベルに合わせて土間ごてで軽く均してください。打継ぎは打設後15分以内を目安とし、塗厚を調整しながら、平滑に均してください。

- *平坦に仕上げるために、速やかに連続して打設し、素早く仕上げてください。
- *仕上り精度が悪くなるので、流布後15分以上経過しての手直しは避けてください。
- *速硬タイプのため、硬化が進行すると補修が困難になりますので、軽歩行が可能になった後、必要に応じて速やかに塗り継ぎ部等の処理をおこなってください。
- *平均塗厚が20mmを越える場合は、一定の間隔に堰を設けてから施工してください。

養生

施工終了後4時間(冬季は6時間)は、直射日光、急激な乾燥、振動、衝撃等を避けてください。通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

- *表面のプラスチック収縮ひび割れやしわ(風紋)等の原因となりますので、施工後4～6時間は開口部の閉鎖等の養生をおこなってください。また、施工後24時間程度は直射日光、風等による急乾燥を避けてください。
- *軽歩行が可能になった場合でも、床表面は傷つきやすいので、十分注意してください。
- *仕上げをするまでに水掛りがないように、養生シート・合板等で養生をおこなってください。
- *硬化後、気泡跡・レイタンス・不陸跡がないことを確認してください。必要に応じてポリッシャー等で処理してください。
- *仕上材を施工する場合、下表を目安にして養生をおこない、下地の状態を確認してください。長尺シート・Pタイルなどの張り物については、十分に乾燥(目安として含水率8%以下)していることを確認してください。乾燥の程度を測定するには、高周波静電容量式水分計(ケツ社製HI-500等)が便利です。簡易的に現場で乾燥度合いを確認するには、30cm角のビニールシートを置いて30分経過後、濡れ色を呈するか、呈さないかにより判断してください。
- *塗り床下地とする場合の施工間隔は、24時間以上が目安ですが、環境条件や塗り床材の種類により影響を受けますので、塗り床ハンドブックや塗り床仕上げ材メーカーの仕様準じて、下地が十分乾燥していることを確認したうえで、施工してください。

仕上げ材施工までの養生間隔

項目	15～35℃(標準～夏季)	3～15℃(冬季)	3℃以下
軽歩行可能	2～4時間以上	4～6時間以上	施工不可
接着剤による張り物施工	8時間以上	15時間以上	
塗り床、防塵塗料および防水材施工	24時間以上		

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0810028
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問い合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。